

# 工芸クリエイターコース

工芸技術とデザイン、  
自己プロデュース力を身につけた  
志の高いクリエイターをめざす。

守り続けるだけが伝統工芸ではありません。伝統工芸のあり方、生かし方を考え、それらをビジネスとして進化させていく必要があります。本コースは、伝統工芸の技術だけでなく、新時代を切り拓くために必要な力を磨くコースです。工芸コースと同様に、10種の工芸から希望の専攻を選択し、同じ工芸実習で技術を習得。さらに、専門のカリキュラムでデザイン力や多岐にわたる工芸分野の知識・技術を身につけながら、さまざまな産官学連携事業や共同プロジェクトに参加することで、自身の作品をブランディングし、培った専門技術を社会に発信する自己プロデュース力を磨きます。

**Aim to be a new-age creator who has gained craft techniques, design skills, as well as the power of presenting oneself favorably.**

Traditional crafts are not something that you only keep on preserving. You also need to think about their existence and intended use, and evolve them as a business. This course aims to polish not only techniques for traditional crafts but also the power needed to pioneer the new age. As with the Craft Courses, students will choose a course from 10 types of craftwork and learn the techniques under the same curriculum. Furthermore, they will try self-branding their own works under the special curriculum, and develop the power of presenting themselves favorably in order to let society know of their specialized techniques.



## Student's Voice 大垣 綾美

木工芸専攻・クリエイターコース4年生/高岡工芸高校(富山県)出身 工芸士2級 【株式会社 匠工芸 内定】

数多くの伝統工芸が集まるTASKの工芸クリエイターコースなら、さまざまな専攻の学生と学び合い、より多くの技術や知識が習得できると考えて入学。私が在籍する木工芸だけでなく、他専攻の学びも自然と身につきます。このコースは複数名でひとつの作品を作り上げることが多く、その難しさや楽しさを経験でき、より良いものを作れるのが魅力です。

## Professors' Voices

古くは文字を正確に書き写すだけで職人技と呼ばれたものが、現代ではコピー機ひとつで済んでしまうように、技術というのは時代によって価値が変わるもの。本コースは企業や自治体と連携したプロジェクト活動などを通して、実践的なプロデュース力、プレゼンテーション力やデザイン力を磨き、職人の技術を現代で生かせる人材を育成します。



津村 健一 教授

工芸クリエイターコースでは工芸の技術に加え、デザイン力、プロデュース力など、これからの時代に必要なソフト面のスキルを身につけることができます。また自分の専攻以外の学生といっしょにものづくりをする機会も多く、幅広い知識が養えます。4年間、高いモチベーションを持って学び、大きく成長してください。



池田 大輔 講師

## | 学びのポイント |

**point 01** デザインする、作る、価格を設定する。そして売る。独立作家活動のための一連の流れや経験、ノウハウを把握し身につけるとともに、「自己プロデュース力」を磨く。

**point 02** 学外のコンペや公募展に積極的にチャレンジするなど、自分の感性と培った技術で作った作品を発信し、経験を積める。

**point 03** 産官学連携事業として実施している企業や自治体との共同プロジェクトなどに優先的に参加でき、商品化やプロモーションなど、将来確実に役立つ実践力が身につく。

めざせる主な職業 工芸士/デザイナー/キュレーター/工芸作家/工芸プロデューサー/アーティスト/インストラクター/学校教員 他

## | 工芸クリエイターコース開講科目 |

10種の工芸から希望の専攻を選択。伝統工芸の技術を学びながら、下記の専門演習を学びます。

### 工芸ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ



ゼミナールⅠでは作品・商品を生み出すために必要な幅広い知識を習得。Ⅱ・Ⅲ・Ⅳでは企画やプレゼンテーション、調査活動などを通じ、デザイン力や構想力を育みます。

### 製品開発演習



実践的な市場調査・分析手法を学び、開発テーマを設定。企画立案・アイデア発想、試作を通して開発の流れを体得します。

### コンピュータ演習



2次元グラフィックソフトのツールを理解し、基礎的なテクニックを習得。デザイン表現力や、各自の専門に応じたプレゼンテーション能力を向上させます。※Adobe Illustrator/ Photoshop

### デザイン概論

デザインとは何かを学ぶために、その語源や領域について学習。さらに現代社会における役割や課題、デザインムーブメントについても学びます。

### インテリアデザイン

空間を構成していく上で重要な役割を持つプロダクト製品や美術品からインテリアデザインを紐解いていきます。

### 国際コミュニケーションⅠ・Ⅱ

日本文化を海外の人々に伝えるための英語力を身につけます。

## PROJECT

### 柵家プロジェクト

2018年にスタートした柵家プロジェクト。200年もの歴史を持つ京都の老舗旅館に伝統工芸を活用したグッズやアイデアを提案。2019年には数ヶ月かけて制作したさまざまな試作品をプレゼンテーションしました。

#### 柵家

1818年創業の京都を代表する老舗旅館。これまでに政財界の要人や多くの文人墨客が宿泊しています。特にノーベル賞作家の川端康成はこの旅館をこよなく愛し、「柵家ほど思ひ出の多い宿はない」と記した原稿も残っています。



2019年柵家でのプレゼンの様子

プレゼンテーションの方法も自分たちで考え、工夫を凝らしました。



専攻の違う学生がチームを組み、互いの特長を生かした作品が完成。

# 柊家プロジェクト 2018 - 2020

※詳細は別紙「柊家プロジェクト 2018-2020」をご覧ください。

本校の工芸クリエイターコースの学生たちが、創業200年を超える京都の老舗旅館として名高い「柊家旅館」とコラボレーション。老舗旅館と伝統工芸の組み合わせによる新たな価値とさらなる魅力を創造すべく2018年から始動したプロジェクトです。2021年3月に納品とプレスリリースを行いました。今回納品したのは7アイテムのうち6アイテム。学生たち自らディスプレイしました。また価格設定の際、女将さん方からはプロの目線からの厳しい指摘や販売する上での的確なアドバイスもあり、工芸家や職人を目指す学生たちにとって非常に有意義な経験になりました。今回のプロジェクトで学生たちが制作したアイテムは、柊家旅館で販売中で、既に数点が売約されました。また、今後は柊家旅館オンラインショップでも取り扱われる予定です。



## Students' Voices

アイデアの生み方やビジネス視点でのものづくりなど、実社会で生きるチカラが身につきます。



**福田 芽依**  
22期生 金属工芸専攻  
基町高校(広島県)出身

工芸クリエイターコースを選んだのは、デザインに対する苦手意識を克服したかったからです。このコースはデザイナーとして必要な知識やPCソフトの使い方も学べ、また企業とのプロジェクトで実際の仕事に近いことも体験できるので、社会で必要な能力が身につけている実感があります。3年次の製品開発演習という授業では、材料費や制作時間を踏まえたうえでの価格設定というビジネス面からのものづくりも教わりました。



**石関 華**  
23期生 蒔絵専攻  
科学技術高校(静岡県)出身

伝統工芸が若い人に受け入れられるには、デザインやアイデアなどの+αが必要。そう考えて工芸クリエイターコースを選択しました。蒔絵の技術を習得するとともに、授業で作る側だけでなく、売る側・買う側からの視点を教わるので、それを踏まえた新しいアプローチで、現代が求める伝統工芸を考えていきたいです。



**大垣 綾美**  
23期生 木工芸専攻  
高岡工芸高校(富山県)出身

数多くの伝統工芸が集まるTASKの工芸クリエイターコースなら、さまざまな専攻の学生と学び合い、より多くの技術や知識が習得できると考えて入学。私が在籍する木工芸だけでなく、他専攻の学びも自然と身につきます。このコースは複数名でひとつの作品を作り上げることが多く、その難しさや楽しさを経験でき、より良いものを作れるのが魅力です。

# 一坪茶室プロジェクト 2017

京都府観光・文化・産業振興事業「お茶の京都博」



▲「水郷-SUIKYO」の制作に励む学生たち  
井出町でのフィールドワーク後、プレゼンテーションを重ね、最終的にデザイン性の高さが評価された「水を感じる茶室」の提案をもとに茶室を制作。

京都府の観光・文化・産業振興事業である「お茶の京都博」のプログラムとして、京都府井手町との連携のもと実施された「一坪茶室プロジェクト」に参加しました。井手町の魅力を広く社会にアピールし、振興につなげることを目的に、工芸クリエイターコースの2・3年生14名の学生が一坪茶室の制作に携わりました。

## Snap Shot



## Professor's Voice



古くは文字を正確に書きすだけで職人技と呼ばれたものが、現代ではコピー機ひとつで済んでしまうように、技術というのは時代によって価値が変わるもの。本コースは企業や自治体と連携したプロジェクト活動などを通して、実践的なプロデュース力、プレゼンテーション力やデザイン力を磨き、職人の技術を現代で生かせる人材を育成します。

津村 健一 教授

伝統工芸の技を伝える日本で唯一の学校

**TASK**  
**京都伝統工芸大学校**  
TEL0771-63-1751(代表)  
www.task.ac.jp  
taskinfo@task.ac.jp

入学に関するお問い合わせ  
**0120-63-1752**  
もっとTASKを知るには  
**TASK** 検索  
TASK(タスク)とは京都伝統工芸大学校の愛称です  
放送大学連携協力校 | 職業実践専門課程認定校  
(一財)京都伝統工芸産業支援センター連携協力校